

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●日本ダービーはクロワデュノールが優勝

6月1日(日)に行われた東京優駿(日本ダービー・GI)ではクロワデュノール(牡3歳/栗東・斉藤崇史厩舎)が1番人気に応じて優勝、ホープフルSに続く2つ目のGIタイトルを獲得しました。生産者ノーザンファームは日本ダービー13勝目で自らの持つ最多勝記録を更新。馬主である有限会社サンデーレーシングは日本ダービー5勝目で、こちらも歴代最多勝となります。

●C.ルメール騎手のJRA通算勝利数が単独第9位となる

5月31日(土)の2回東京11日・第7レースではパワースナッチが1着となり、同馬に騎乗したクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)はJRA通算2017勝をマークしました。これは増沢末夫元騎手の2016勝を抜き、JRA史上単独第9位の記録となります。

●京都競馬場で第38期「竜王戦」の対局を実施

京都競馬場100周年記念事業の一環として、将棋の第38期「竜王戦(主催:読売新聞社/日本将棋連盟)」七番勝負・第4局が京都競馬場にて開催されることとなりました。期日は11月12日(水)と13日(木)、場所はゴールサイド6階『菊の間』で、JRAの競馬場で将棋公式戦の対局が行われるのは初めてのこととなります。

●ジャックドール、テンハッピーローズらの競走馬登録抹消

2023年大阪杯(GI)などの勝ち馬ジャックドール(牡7歳/栗東・藤岡健一厩舎/JRA通算16戦8勝・海外1戦0勝)、2024年ヴィクトリアマイル(GI)の勝ち馬テンハッピーローズ(牝7歳/栗東・高柳大輔厩舎/JRA通算25戦6勝・海外2戦0勝)、2023年平安S(GIII)などの勝ち馬グロリアムンディ(牡7歳/栗東・大久保龍志厩舎/JRA通算21戦7勝・地方4戦1勝・海外1戦0勝)は、3月5日(水)までに競走馬登録を抹消されました。ジャックドールは北海道新ひだか町のレックススタッドで種牡馬、テンハッピーローズは北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となり、グロリアムンディは地方・船橋競馬に移籍しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ムーンオブザエースが佐賀二冠を達成【各地の主要3歳重賞】

九州優駿栄城賞(6月1日、佐賀、2,000円)は、序盤5番手から向正面半ばで先頭集団に入った単勝1.9倍ながら僅差で2番人気のムーンオブザエース(牡、父ニューイヤーズデイ)が2馬身差で完勝、佐賀皐月賞に続く佐賀二冠を達成しました。若潮スプリント(6月4日、船橋、1,200円)は、3番手を進んだベアバッキューン(牡、父モズアスコット)が残り100円を切った辺りで差し切り、単勝1.7倍の支持に応じてデビュー以来無傷の5連勝。東海優駿(6月4日、名古屋、2,100円)は、これが18戦目だった2番人気の北海道から愛知への移籍馬サンヨウテイオウ(牡、父ルヴァンスレーヴ)が中団から3、4コーナー中間で抜け出し、後続に3馬身差を付けて重賞初制覇。5戦5勝で単勝1.3倍という圧倒的人気だった駿蹄賞馬カワテンマックスは、6着と初黒星を喫しています。

●6月11日の東京ダービー(大井)で二冠を目指すナチュラルライズ

東京ダービー(JpnI、3歳、6月11日、大井、2,000円)は、京浜盃、羽田盃と圧勝続きのナチュラルライズが最有力、ユニコーンSを制したカナルビーグル、同2着のクレーキングが続き、以下ナイトオブファイア(大井)、アメージング、スマイルマンボ(大井)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1仏ダービー〜カミーユピサロが優勝

現地6月1日にフランスのシャンティイ競馬場で行われたG1仏ダービー(3歳牡牝、芝2,100円)はアイルランドからの遠征馬カミーユピサロ(牡3歳、父ウートンバセット、A.オブライエ厩舎)が、R.ムーア騎手を背に道中5番手追走から直線で最内を突いて抜け出して優勝しました。2015年の英オークス馬クオリファイの産駒で、G3ラフォルス賞、G3ギシュ賞を連勝して臨んだクアリフィカルが半馬身差の2着でした。勝ったカミーユピサロは芝1,200円の3歳G1であるコモンウェルスCを制したゴールデンホード(父リーサルフォース)の半弟。2歳4月に芝1,160円戦でデビュー勝ちを収めた後はG3マーブルヒルS2着、G3アングルシーS2着など勝ち切れないレースが続きましたが、キャリア7戦目となった10月のG1ジャンリュックラガルデール賞(芝1,400円)で最後方から強烈な末脚を繰り出して重賞初制覇を果たしました。今年は初戦となった3月のグラッドネスSが2着、前走5月のG1仏2000ギニーも3着。ここは前走から500円延びる距離への対応が注目されていました。